



りんすけは、猫になったはるかを
すねているゆうたのところへ連れていきます。
「ゆうたは最近おかあさんが結婚して、
新しいおとうさんができたんや。
うれしいんやけど、
おかあさんをとらわれてしもたみたいで
フクザツな気持ちやねん」
「フクザツ・ゆうた、猫になあれ！」

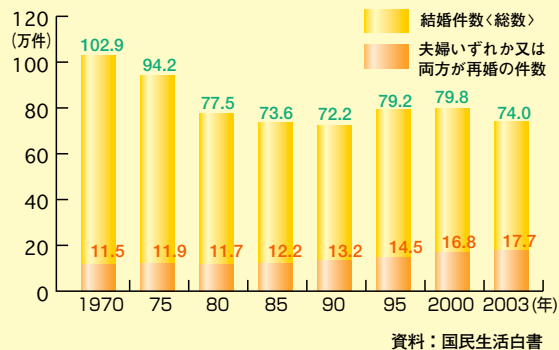


「おとうさんは、ゆうたと本当の親子に
なりたいと強く願ってるんとちゃうか？
目をつぶって、おとうさんの
心の声をよよく聞いてみなはれ」

増え続けるステップファミリー 新しい家族のきずな

ステップファミリーとは、夫婦のどちらか、あるいは双方が子どもを連れて再婚してできた家族のことです。以前の配偶者との別離の事情や子どもの人数、年齢、性別などによって悩みもさまざまです。初婚の場合に比べ、「家族」としての関係を築くのに時間がかかることがあります。けれども以前の結婚生活で得た教訓や精神的な成熟、適切なサポートによって新しい家族のきずなを築くことができます。血縁の有無で親子の愛情をはかる偏見や差別をなくしていくことも必要です。

■結婚件数と初婚・再婚の件数



「時間をかけて“家族”に」

再婚当時、子どもたちは13歳～17歳。思春期特有の難しさと相まって、接し方にはとても悩みました。近所の人が子どもに「冷たくされているのでは？」と聞いたこともあります。悩みを話し合える場や専門家ももっと必要だと思います。誕生日や入学などは全員で祝うなど、家族のイベントを大切にしてきました。子どもたちは成長とともに変わり、今はそれぞれを親として認めているみたいです。 【女性50代】

「子どもの気持ちを受け止めていきたい」

再婚した時、私の娘は小学3年生。夫には小学1年生の息子がいました。子どもは2人欲しかったので、うれしかったです。娘が「お姉ちゃん」らしく、息子が新しい家族にうまくなじめるよう、気を遣ってくれました。再婚して2年が過ぎた今、精神的な面での“家族の再編成”には時間がかかることを実感しています。子どもたちの気持ちを受け止めながら、じっくり向き合っていくつもりです。 【女性40代】